

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

公益社団法人 秋田県農業公社

目 次

第1 事業報告	
1 総会等に関する事項	1
2 役員等の異動に関する事項	3
3 事業実績	
I 公益目的事業	
農地管理部(公1)	4
農業振興部(公2)	6
畜産部(公3)	14
II 収益事業	
肥育牛及び比内地鶏素雛等販売供給事業(収1)	33
畜産関係機関・団体からの受託事業(収2)	35
III その他事業	
相互扶助等事業(他1)	36
4 附属明細書	38
第2 財務諸表等	
I 貸借対照表	40
II 正味財産増減計算書	42
III 正味財産増減計算書内訳表	44
IV キャッシュ・フロー計算書	48
V 財務諸表に対する注記	49
VI 附属明細書	55
VII 財産目録	56
監査報告書	60

第1 事業報告

1. 総会等に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

開催年月日	開催場所	会員総数	出席会員数	総議決権数	出席議決権数
4. 6. 30 (書面によるみなし決議)	—	48	48	48	48

「議案」

第1号議案 令和3年度事業報告及び財務諸表等の承認について

第2号議案 役員の補充選任について

イ 臨時総会

開催年月日	開催場所	会員総数	出席会員数	総議決権数	出席議決権数
4. 10. 31 (書面によるみなし決議)	—	48	48	48	48

「議案」

第1号議案 公益社団法人秋田県農業公社定款の一部変更について

(2) 理事会

第1回理事会

開催年月日	議 決 事 項
4. 6. 8	1 令和3年度事業報告及び財務諸表等の承認について 2 秋田県土地改良事業団体連合会との契約締結について 3 役員の補充選任について 4 令和4年度通常総会の招集及び附議する事項について

第2回理事会(書面による同意)

同意年月日	議 決 事 項
4. 10. 14	1 臨時総会の招集及び附議する事項について

第3回理事会

開催年月日	議 決 事 項
5. 3. 13	1 令和5年度事業計画及び収支予算について 2 令和5年度賦課金の額及び徴収方法について 3 令和5年度借入金の限度額について 4 公益社団法人秋田県農業公社会員への入会について 5 秋田県畜産農業協同組合との牧場用飼料売買の契約締結について 6 秋田県土地改良事業団体連合会との契約締結について 7 公益社団法人秋田県農業公社業務方法書の一部変更について 8 公益社団法人秋田県農業公社組織規程の一部改正について 9 公益社団法人秋田県農業公社職員給与規程の一部改正について 10 公益社団法人秋田県農業公社就業規則の一部改正について 11 公益社団法人秋田県農業公社臨時職員就業規程の一部改正について 12 公益社団法人秋田県農業公社非常勤職員就業規程の一部改正について て

(3) 監事監査

開催年月日	監 査 事 項
4. 6. 1	1 事業報告等の監査 2 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査

2. 役員の変動に関する事項

年月日	区分	職名	氏名	摘要
4. 6. 30	退任	理事	伊藤 真人	
〃	〃	〃	金子 治生	
〃	〃	監事	播磨 成人	
〃	就任	理事	佐藤 功一	
〃	〃	〃	柳田 高人	
〃	〃	監事	桜庭 憲光	

3. 事業実績

I 公益目的事業

公1 農地の有効利用による地域社会の健全な発展を図る事業 (農地管理部)

1 農地中間管理事業

(1) 農地中間管理事業 (国、県補助)

事業費(事業運営費) 193, 222, 151円

担い手の経営改善を支援するため、市町村が定める「実質化した人・農地プラン」との連携を図りながら、農地中間管理事業及び農地売買事業(特例事業)により、担い手への農地の集積・集約化を推進した。

農地中間管理事業については、県内25市町村で実施し、2,487件、1,920.7haを借入れ、1,266件、2,481.0haを貸付けた。

農地売買事業については、95件、126.3haを買入れ、89件、117.0haを売渡した。

《 賃貸借事業 》

(単位:件、ha、千円)

区分	計 画			実 績			増 減		
	件数	面積	金額	件数	面積	金額	件数	面積	金額
借 入	3,500	3,500.0	350,000	2,487	1,920.7	137,921	△1,013	△1,579.3	△212,079
貸 付	1,170	3,500.0	350,000	1,266	2,481.0	185,935	96	△1,019.0	△164,065

※ 借入・貸付の金額は賃借(貸)料である。

《 特例事業(売買) 》

(単位:件、ha、千円)

区分		計 画			実 績			増 減		
		件数	面積	金額	件数	面積	金額	件数	面積	金額
買 入	担い手支援タイプ	130	145.0	1,000,000	91	122.2	818,103	△39	△22.8	△181,897
	一般タイプ	5	5.0	30,000	4	4.1	9,309	△1	△0.9	△20,691
	計	135	150.0	1,030,000	95	126.3	827,412	△40	△23.7	△202,588
一時 貸付	担い手支援タイプ	15	30.0	4,500	11	19.5	2,258	△4	△10.5	△2,242
売 渡	担い手支援タイプ	122	129.0	856,076	84	110.9	661,827	△38	△18.1	△194,249
	一般タイプ	5	5.0	30,000	5	6.1	14,309	0	1.1	△15,691
	計	127	134.0	886,076	89	117.0	676,136	△38	△17.0	△209,940

(2) 農地耕作条件改善事業（国補助）

事業費 3,854,000円

農地中間管理事業による担い手への農地の集積・集約化を促進するため、簡易な基盤整備を実施した。

令和3年度採択の中嶋地区は、農作物収穫後の10月末から工事に着手したが、天候不良により年度内完了が困難となったことから、令和4年度に繰越し、工事は契約工期(令和4年8月9日)に完成した。

(単位:千円)

事業名	地区名	市町村名	事業実施内容	事業費	備考
農地耕作条件改善事業	中嶋	北秋田市	暗渠排水 3.0ha	3,854	R3繰越
計	1地区			3,854	

2 大潟村方上地区農地管理（県補助）

事業費 18,265,399円

昭和52年に県単入植地として国から配分を受けた大潟村方上地区の農地について、県から土地改良区賦課金等の補助を受け、維持管理を行った。

また、今年度は当該地区農地の一部売却に向け、当該農地の地積測量を実施した。

公2 農業の振興による国民生活に不可欠な食料の安定供給と地域社会の健全な発展を図る事業

(農業振興部)

1 人材育成・確保支援事業（新規就農総合対策事業）

本県農業の将来を担う新規就農者を育成・確保するため、就農前の相談活動から就農・定着まで一貫したサポートを行うとともに、新規参入を促進するため、県、市町村等関係機関と連携しながら、就農体験から技術習得研修、営農開始・定着まで支援した。

(1) 新規参入者確保マッチング推進事業（県補助）

事業費 15,864,432円

ア 就農相談活動

新規参入サポート専門員を配置し、就農を希望する新規参入者等に対し、農業法人でのインターンシップを通じ、円滑な就農を支援した。

区 分	計画	実績	増減	備 考
新規就農相談活動	110人	延 113人	3	実人数103人 (県外在住71、県内在住32)
就農促進会議	8回	8回	－	振興局が開催する会議で情報共有
農業法人インターンシップの実施	20人	延 13人	△ 7	実人数9人 (県外在住5、県内在住4)
インターンシップ受入法人の掘り起し	8法人	6法人	△ 2	受入農業法人数60経営体

※インターンシップ参加者のうち1名が独立経営開始、1名が長期研修開始

イ 就農促進活動

就農定着コーディネーターを配置し、県及び関係機関との連携により、就農啓発や農地をはじめとする就農情報の共有、受入調整等を行うとともに、就農者の営農開始から定着までサポート活動を関係機関と一体となって推進した。

区 分	計画	実績	増減	備 考
新規就農定着活動報告会の開催	1回	1回	－	
就農定着支援チーム活動	16回	10回	△ 6	市町村、振興局が実施するチーム活動に参画、助言

ウ 情報発信強化事業

秋田県の新規就農に関する情報をまとめた当公社ホームページを充実させることにより、就農希望者の情報収集を支援した。また、新規就農者のインタビュー等を動画で提供し、PRを図った。

区 分	計画	実績	備 考
公社ホームページの改修	1 回	1 回	JTB・アグリコネクト共同企業体に委託して作成したウェブサイトを12月から公開
就農PR動画の作成・公開	1 回	1 回	11名の就農者を取材し、動画をウェブサイトとYouTubeで公開

(2) 農業次世代人材投資事業 (国補助)

事業費 69,387,769円

ア 就農準備資金

研修機関等で研修を受ける場合、就農予定時に49歳以下で就農する者に対し、研修期間中について年間最大150万円を最長2年間交付した。

イ 新規就農促進研修支援事業

県が認めた研修機関等で研修を受ける場合、原則として就農予定時の年齢が49歳以下で就農する者に対し、研修期間中について年間最大150万円を最長2年間交付した。

《交付対象者》

区 分	計画	実績	増減	事業費	備考
継続対象者 (新規就農促進 研修支援事業)	14 人	14 人	—	19,875 千円	1,500 千円×13 人 375 千円×1 人 (12 月までの 9 か月分を R3 で交 付)
新規対象者 (就農準備資金)	45 人	30 人	△ 15	45,000 千円	1,500 千円×30 人
推進事業費				4,512 千円	就農準備資金 1,286 千円 新規就農促進研修支援事業 645 千円 農業次世代人材事業 2,581 千円
計	59 人	44 人	△ 15	69,387 千円	

2 農業経営総合支援事業

(1) 農業経営者総合サポート事業（国委託）

事業費 7,595,768円

新規就農者の確保・定着及び地域農業を牽引する競争力の高い経営体を育成するため、就農及び経営を総合的にサポートする体制を整備し、就農希望者に対する適切な情報提供と就農相談、農業者に対する経営課題に応じた専門家の派遣や個別巡回支援により、法人化から経営力強化、円滑な継承まで関係機関と連携して取り組んだ。

区 分	計画	実績	増減	備 考
農業者の意向確認調査	1回	1回	－	251の候補者に意向確認し135の重点支援農業者を選定
経営継承セミナーの開催	1回	4回	3	インボイス制度研修会、集落営農構造再編セミナー
経営相談会の開催	3回	6回	3	3地区で各2回実施(インボイス、経営)
専門家派遣回数	100回	51回	△ 49	中小企業診断士、税理士、司法書士等
新規就農相談活動 ※ (再掲)	110人	延113人	3	実人数103人(県外在住71、県内在住32)
就農促進会議 ※(再掲)	8回	8回	－	振興局が開催する会議で情報共有
就農相談会等での相談活動	8回	9回	1	仙台1回、東京6回、県内1回、オンライン方式1回

※新規参入者確保マッチング推進事業と共通

3 付加価値活動支援事業

(1) JAS有機認証事業

事業費 2,306,800円

JAS法に基づく登録認証機関として、県内で有機農業に取り組む生産行程管理者、有機加工食品を製造する生産行程管理者、または小分け業者からの申請に基づき、生産・管理に関する調査等を行い、認証した。

(単位:件、人、ha)

区分		計画			実績			増減		
		申請 件数	生産 者数	面積	申請 件数	生産 者数	面積	申請 件数	生産 者数	面積
新規	生産行程管理者	4	4	4	2	2	4	△ 2	△ 2	—
	小分け業者	1	1		0	0		△ 1	△ 1	
	加工業者	1	1		1	1		—	—	
継続	生産行程管理者	19	38	302	16	36	292	△ 3	△ 2	△10
	小分け業者	1	1		1	1		—	—	
	加工業者	4	5		4	5		—	—	
計		30	50	306	24	45	296	△6	△ 5	△10

(2) 特別栽培農産物認証事業

事業費 7,849,680円

秋田県特別栽培農産物認証制度に基づく認証機関として、生産者等からの申請に基づき、栽培管理や記録状況等の現地検査を行い、基準を満たす農産物を認証した。

ア 申請の状況 (5月～翌1月に申請受理するもの)

(ア) 農産物

(単位:件、人、ha)

区分	計画			実績			増減		
	申請 件数	生産 者数	面積	申請 件数	生産 者数	面積	申請 件数	生産 者数	面積
米	183	537	3,239	179	541	3,288	△ 4	4	49
大豆	2	3	9	1	1	3	△ 1	△ 2	△ 6
野菜	23	35	33	25	45	32	2	10	△ 1
果樹	7	8	11	5	5	6	△ 2	△ 3	△ 5
計	215	583	3,292	210	592	3,329	△ 5	9	37

(イ) 精米

(単位:件、か所)

区分	計画	実績	増減
県内	108	98	△ 10
県外	—	—	—
計	108	98	△ 10

イ 認証の状況

令和3年12月1日から翌年1月20日、及び令和4年5月1日から31日に申請を受付けた令和4年度産特別栽培農産物について、栽培管理及び記録状況を現地検査し、基準を満たしている農産物の認証と認証票の交付を行った。また、精米についても、令和4年度産の精米申請があったものについて、現地検査、認証、および認証票の交付を行った。

(ア) 農産物

(単位:件、人、ha)

区分	申請			認証実績			増減		
	件数	生産者数	面積	件数	生産者数	面積	件数	生産者数	面積
米	184	543	3,247	180	533	3,181	△ 4	△ 10	△ 66
大豆	1	1	2	1	1	2	—	—	—
野菜	24	46	33	20	38	30	△ 4	△ 8	△ 3
果樹	7	8	10	6	7	5	△ 1	△ 1	△ 5
計	216	598	3,292	207	579	3,218	△ 9	△ 19	△ 74

(イ) 精米

(単位:件、か所)

区分	申請		認証実績		増減	
	件数	精米施設	件数	精米施設	件数	精米施設
県内	105	108	105	108	—	—
県外	0	0	0	0	—	—
計	105	108	105	108	—	—

(3) 秋田県農山漁村発イノベーション(6次産業化)サポートセンター業務委託事業 (国委託)

事業費 6,277,341円

農山漁村の地域資源を最大限に活用し、新たな事業や雇用を創出する取組(6次産業化を含む)を行う事業者等の経営改善や経営全体の付加価値向上の取組を支援するため、秋田県農山漁村発イノベーション(6次産業化)サポートセンターの設置・運営を行った。

区 分	計画	実績	増減
プランナーの派遣を通じた支援等 (総件数)	40 件	24 件	△ 16
企画推進員による対応 (訪問及び電話等)	120 件	24 件	△ 96

4 主要農作物種子生産・確保支援事業

(1) 主要農作物原種生産事業（県委託）

事業費 24,036,929円

大豆原種とブロックローテーション用の水稻を生産した。

《作付計画及び生産量》

作物名	品種名	作付面積	計画	実績	増減
大豆原種	リュウホウ	5.10 ha	7,500 kg	10,820 kg	3,320 kg
ブロックローテーション水稻	あきたこまち めんこいな	11.46 ha	63,000 kg	57,770 kg	△5,230 kg

(2) 園芸種苗生産事業

事業費 32,041,959円

メロン・すいか・えだまめ・だいこんの県オリジナル品種の種子生産を行い、JA全農あきた及び日本種苗協会秋田県支部を通じて、県内農家へ供給した。

《作付面積と生産実績》

作物名	品種名・品名	作付面積		生産量		増減	備考
		計画	実績	計画	実績		
メロン	秋田甘えんぼ R	2.4a	2.4a	600 袋	659 袋	59 袋	100 粒/袋 農家作付面積 3.1ha 相当
	計	2.4a	2.4a	600 袋	659 袋	59 袋	
すいか	あきた夏丸	10a	10a	1,200 袋	886 袋	△314 袋	100 粒/袋 農家作付面積 160ha 相当
	あきた夏丸アカオニ	10a	10a	300 袋	101 袋	△199 袋	
	あきた夏丸チツチェ	10a	10a	1,200 袋	1,338 袋	138 袋	
	計	30a	30a	2,700 袋	2,325 袋	△375 袋	
えだまめ	あきたさやか	25a	25a	300 袋	120 袋	△180 袋	1 1/2 粒/袋 農家作付面積 175ha 相当
	あきた香り五葉	130a	130a	1,430 袋	1,221 袋	△209 袋	
	あきたほのか	240a	337a	3,250 袋	4,957 袋	1,707 袋	
	計	395a	492a	4,980 袋	6,298 袋	1,318 袋	
だいこん	秋田いぶりおぼこ	20a	20a	4,000 袋	1,632 袋	△2,368 袋	20 ml/袋 農家作付面積 11ha 相当
	あきたおにしぼり紫	1a	1a	200 袋	21 袋	△179 袋	
	計	21a	21a	4,200 袋	1,653 袋	△2,547 袋	

《供給量》

作物名	品種名・品名	供給量		増減	備考
		計画	実績		
メロン	秋田甘えんぼ R	280 袋	255 袋	△25 袋	100 粒/袋
	秋田甘えんぼ春系 R	350 袋	310 袋	△40 袋	
	秋田甘えんぼレッド R	70 袋	62 袋	△8 袋	
	秋田甘えんぼレッド春系 R	50 袋	41 袋	△9 袋	
	秋田あんめグリーン	200 袋	167 袋	△33 袋	
	秋田あんめレッド	50 袋	34 袋	△16 袋	
	計	1,000 袋	869 袋	△131 袋	農家作付面積 4.14ha 相当
すいか	あきた夏丸	1,500 袋	1,386 袋	△114 袋	200 粒/袋
	あきた夏丸ワッセ	20 袋	4 袋	△16 袋	
	秋農試38号	15 袋	11 袋	△4 袋	
	あきた夏丸アカオニ	300 袋	97 袋	△203 袋	100 粒/袋
	あきた夏丸クロオニ	20 袋	26 袋	6 袋	
	あきた夏丸チツチェ	1,500 袋	1,500 袋	0 袋	
	あきた夏丸チツチェゴールド	20 袋	11 袋	△9 袋	
	あきた夏丸チツチェブラック	10 袋	7 袋	△3 袋	
	計	3,385 袋	3,042 袋	△343 袋	
えだまめ	あきたさやか	450 袋	221 袋	△229 袋	1 粒/袋
	あきた香り五葉	2,000 袋	1,167 袋	△833 袋	
	あきたほのか	5,000 袋	3,852 袋	△1,148 袋	
	計	7,450 袋	5,240 袋	△2,210 袋	農家作付面積 145ha 相当
だいこん	秋農試39号	300 袋	286 袋	△14 袋	20 ml/袋
	秋田いぶりおぼこ	4,000 袋	3,182 袋	△818 袋	
	あきたおにしぼり紫	10 袋	13 袋	3 袋	
	計	4,310 袋	3,481 袋	△829 袋	農家作付面積 23ha 相当

(3) 種苗生産体制整備事業 (県補助)

事業費 17,306,960円

種苗の安定生産、供給を図るため、機械、施設等の整備を行った。

(単位:円)

区 分	計 画		実 績		増 減	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
ハンマーナイフモア	1 台	2,092,000	1 台	1,386,000	—	△706,000
スタブルカルチ	1 台	1,162,000	1 台	892,760	—	△269,240
大豆コンバイン	1 台	8,500,000	1 台	7,504,200	—	△995,800
自動操舵システム	2 台	7,200,000	2 台	5,720,000	—	△1,480,000
排水改良工事 (ほ場暗渠)	1. 14ha	2,024,000	1. 14ha	1,804,000	—	△220,000
計		20,978,000		17,306,960		△3,671,040

公3 畜産業の振興による国民生活に不可欠な食料の安定供給と地域社会の健全な発展を図る事業

(畜産部)

1 畜産生産基盤整備及び生産振興事業

(1) 草地畜産基盤整備事業（国、県補助）

事業費 224,139,700円

中山間地域等において、肉用牛や乳用牛など大家畜の生産振興を図るため、草地等の粗飼料生産基盤や牛舎等の整備を行った。

ア 羽後2期地区〔草地林地総合整備型〕

平成30年度から令和4年度までの5か年で、草地の造成整備改良、牛舎、堆肥舎等を整備する計画で、事業最終年度である令和4年度は草地造成、牛舎建築等を実施した。

- ・関係市町村 湯沢市、羽後町
- ・事業参加者 酪農家3戸、肉用牛農家1戸、羽後町
- ・補助率 55%

(単位:千円)

事業内容	全体計画		H30～R3年度 実績		R4年度計画		R4年度実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
測量設計	一式	29,938	一式	28,378	一式	1,795	一式	1,560
草地造成	3.1ha	4,422	1.6ha	1,701	1.5ha	2,442	1.5ha	2,721
草地整備改良	14.0ha	23,210	14.0ha	23,210	—	—	—	—
施設用地造成	1.7ha	44,428	1.6ha	29,480	0.1ha	15,081	0.1ha	14,948
牛舎	6棟	447,947	5棟	350,518	1棟	96,956	1棟	97,429
堆肥舎	4棟	111,424	3棟	78,430	1棟	33,377	1棟	32,994
計		661,369 (国費 363,731)		511,717 (国費 281,423)		149,651 (国費 82,308)		149,652 (国費 82,308)

イ 三種地区 [草地整備型公共牧場整備事業]

令和2年度から令和5年度までの4か年で、三種町公共牧場(大沢放牧場)の草地整備改良等を行う計画で、令和4年度は草地整備改良を実施した。

- ・関係市町村 三種町
- ・事業参加者 三種町
- ・補助率 50%

(単位:千円)

事業内容	全体計画		R2～3年度 実績		R4年度計画		R4年度実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
測量設計	一式	17,467	一式	16,128	一式	700	一式	639
草地整備改良	30.4ha	84,272	8.6ha	25,606	11.6ha	29,000	11.6ha	31,666
隔障物整備	1,000m	4,371	658m	3,171	—	—	—	—
放牧馴致施設整備他	一式	7,400						
計		113,510 (国費 53,050)		44,905 (国費 22,450)		29,700 (国費 14,850)		32,305 (国費 16,150)

ウ 仙北地区 [草地整備型公共牧場整備事業]

令和3年度から令和6年度までの4か年で、仙北市公共牧場(大覚野牧場)の草地整備改良等を行う計画で、令和4年度は草地造成・整備改良を実施した。

- ・関係市町村 仙北市
- ・事業参加者 仙北市
- ・補助率 50%

(単位:千円)

事業内容	全体計画		R3年度実績		R4年度計画		R4年度実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
測量設計	一式	16,929	一式	14,610	一式	700	一式	519
草地造成	3.6ha	7,690	—	—	3.6ha	10,000	3.6ha	7,690
草地整備改良	27.9ha	56,098	—	—	9.3ha	15,000	9.3ha	17,498
隔障物整備	1,520m	6,400	—	—	—	—	—	—
放牧馴致施設整備	一式	7,100	—	—	—	—	—	—
牧場用機械	4台	23,140	—	—	—	—	—	—
計		117,357 (国費 58,670)		14,610 (国費 7,300)		25,700 (国費 12,850)		25,707 (国費 12,850)

(2) 畜産環境総合整備事業（国、県補助）

事業費 522,501,962円

家畜排せつ物のリサイクルシステムを構築することにより、環境汚染の防止と畜産経営の合理化を促進した。

ア 美郷2期地区[資源リサイクル事業]

飼養規模の拡大に伴い増加する家畜排せつ物を適切に処理するため、既存の堆肥処理施設の機能強化を図り、資源循環型農業を推進した。

令和3年度から令和4年度までの2か年で、美郷町堆肥センターの家畜排せつ物処理施設の整備を行う計画で、令和4年度は発酵処理施設建築工事等を実施した。

- ・関係市町村 美郷町
- ・事業参加者 美郷町
- ・補助率 50%

(単位:千円)

事業内容	全体計画		R3年度実績		R4年度計画		R4年度実績	
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
測量設計	一式	12,684	一式	10,515	一式	2,965	一式	2,169
構内舗装等	0.3ha	36,265	—	—	0.3ha	37,939	0.3ha	36,265
施設用地造成	0.5ha	29,229	0.5ha	29,229	—	—	—	—
発酵処理施設等	2棟	423,143	—	—	2棟	404,406	2棟	423,143
攪拌機	一式	64,230	一式	63,250	一式	800	一式	980
脱臭装置	一式	3,174	—	—	一式	4,620	一式	3,174
運搬等機械	3台	32,142	3台	32,142	—	—	—	—
計		600,867 (国費 300,430)		135,136 (国費 67,565)		450,730 (国費 225,365)		465,731 (国費 232,865)

イ 美郷3期地区[資源リサイクル事業]

家畜排せつ物処理施設の整備後、経年劣化等により低下した処理能力を回復させるため、機能診断の結果を踏まえ補修・補強等を行い、施設等の延命化を図ることで資源循環型農業を推進した。

令和4年度から令和7年度までの4か年で、美郷町堆肥センターの家畜排せつ物処理施設の補修工事等を行う計画で、令和4年度は実施設計業務と浄化処理施設の補修工事等を実施した。

- ・関係市町村 美郷町
- ・事業参加者 美郷町
- ・補助率 50%

(単位:千円)

事業内容	全体計画		R4年度計画		R4年度実績		備考
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
測量設計	一式	7,050	一式	4,300	一式	6,050	
浄化处理施設	一式	63,852	一式	21,400	一式	19,652	
堆肥化处理施設	一式	108,700	—	—			
計	179,602		25,700		25,702		
	(国費 89,800)		(国費 12,850)		(国費 12,850)		

(3) 畜産公共事業等計画策定業務 (県委託)

事業費 9,626,000円

令和5年度から畜産環境総合整備事業(資源リサイクル事業)の実施を予定している由利本荘2期地区の事業実施計画を策定した。

地区名	市町村名	備考
由利本荘2期	由利本荘市	畜産環境総合整備事業(資源リサイクル事業)

(4) 肉用牛振興事業

ア 県有牛飼養管理事業 (県委託)

事業費 31,628,590円

本県肉用牛の生産振興を図るため、優良な受精卵の採取や新規就農者等の研修に利用する県有繁殖雌牛等の飼養管理を行った。

(単位:頭)

区分		期首	増加			減少			期末
			導入	組入	生産	組替	販売	事故	
繁殖牛	計画	41		1			3		39
	実績	41		1			14		28
育成牛	計画	1		2		1			2
	実績	1		2		1			2
子牛	計画	12			17	2	15		12
	実績	12			17	2	13		14

イ 秋田オリジナル系統の普及拡大事業（県委託）

事業費 6,583,119円

発育がよく体型にも優れ分娩間隔が短いなど、種牛性に富むことが明らかとなった秋田県固有の系統の繁殖雌牛から受精卵を増産し、肉用牛の担い手等への供給を通じ生産性の向上を図るため、県が秋田オリジナル系統として導入する「ふくはな5」系統の雌牛の飼養管理を行った。

(単位:頭)

区 分		期首	増 加			減 少			期末
			導入	組入	生産	組替	販売	事故	
繁殖牛	計画	8		4					12
	実績	8		3					11
育成牛	計画	0	4	2		4			2
	実績	0	4	2		3			3
子牛	計画	3			5	2	2		4
	実績	3			6	2	2		5

ウ 肉用子牛生産供給事業

事業費 21,093,343円

本県における肉用子牛の需要に対応するため、公社有繁殖雌牛を増頭し、肉用子牛の生産供給の拡大を図った。

《実績及び年度別計画》

(単位:頭)

区 分		令和4年度		計 画	
		計画	実績	令和5年度	令和6年度
繁殖雌牛		37	36	37	37
子牛	生産	30	31	30	30
	出荷	22	20	30	30

《頭数内訳》

(単位:頭)

区 分		期首	増 加			減 少			期末
			導入	組入	生産	組替	販売	事故	
繁殖牛	計画	36		1					37
	実績	36		1				1	36
育成牛	計画	1		1		1			1
	実績	1		1		1			1
子牛	計画	17			30	1	21		25
	実績	17			31	1	20	2	25

(5) 乳用初妊牛育成事業

事業費 7,552,941円

酪農経営における育成部門の分業化を進め、生乳生産の効率化と規模拡大による経営の安定を図るため、県内酪農家から購入した乳用雌子牛を、育成、交配後、初妊牛として販売した。

(単位:頭)

区 分		期首	増加	減少		期末
			購入	販売	廃用	
乳用牛 (育成牛)	計画	10		10		0
	実績	10		10		0

(6) その他受託事業

ア 「畜産クラスター全国推進事業」に係る全国実態調査 (中央畜産会委託)

事業費 160,000円

高収益型畜産を推進する指針を策定し、畜産経営の収益性向上を図るため、優れた経営体の実態調査を実施した。

区 分	計 画	実 績	増 減
経営実態調査	8 経営体	2 経営体	△6 経営体

イ 生産技術情報提供事業 (中央畜産会委託)

事業費 89,000円

家畜の生産性に係るデータを収集し、分析結果をもとに生産技術の課題解決のための助言指導を実施した。

区 分	計 画	実 績	増 減
調査指導	2 経営体	1 経営体	△1 経営体

2 畜産経営技術向上及び生産基盤強化事業

(1) 畜産振興補助事業〔地域畜産支援指導等体制強化〕（地方競馬全国協会補助）

事業費 12,112,000円

畜産経営の安定を図るため、畜産経営体に対する経営診断等の支援業務を実施したほか、畜産に対する理解醸成と畜産物の消費拡大を推進するため、畜産フェア等でPR活動を実施した。

区 分	計 画	実 績	増 減
畜産フェア等の開催	3回	3回	－

(2) 畜産経営改善促進事業（県委託）

事業費 3,963,000円

経営感覚に優れた効率的で生産性の高い畜産経営体の育成を図るため、経営診断を始めとする支援指導、経営技術に関する情報提供等を行った。

区 分	計 画	実 績	増 減
1 実践支援チーム設置委員会	1回	1回	－
2 畜産経営に対する支援指導			
(1) 個別経営体支援指導	60件	64件	4件
(2) 専門指導員の設置	1人	1人	－
3 地域情報・個別経営データの整備提供	随時	随時	－

(3) 大規模モデル経営体等重点指導事業（県委託）

事業費 550,000円

肉用牛の生産拡大を図るため、担い手及び大規模経営体等に対する集中的な支援を実施した。

区 分	計 画	実 績	増 減
1 あきた牛飼い塾の運営・開催	1回	1回	－
2 重点指導対象農家への集中的支援			
(1) 支援チーム会議の開催	1回	1回	－
(2) 検討会・現地指導の実施	12件	12件	－

(4) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助）

事業費 896,704円

畜産特別資金等借受者の経営の合理化や体質強化を図るため、経営改善指導等を実施した。

区 分	計 画	実 績	増 減
1 支援推進協議会の開催	1回	1回	－
2 融資機関への指導・助言	1回	1回	－
3 経営改善計画作成・見直し及び達成指導	7件	4件	△3件
4 借受者の進捗状況調査	1回	1回	－
5 経営改善の定期的な実績点検	2回	2回	－

(5) 肉用牛経営安定対策補完事業（農畜産業振興機構補助）

事業費 6,612,141円

小規模・高齢者層等の離農により、肉用牛生産基盤の脆弱化が危惧されることから、肉用牛の生産基盤強化対策及び地域の特色ある肉用牛振興対策等、肉用牛の経営安定に資する取組を総合的に実施した。

ア 肉用牛生産基盤強化対策事業

区 分	計 画			実 績		
(1) 中核的担い手育成増頭推進 繁殖雌牛の増頭に対する奨励金交付	3農協	10万円/頭	28頭	1農協	10万円/頭	3頭
					8万円/頭	1頭
(2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保 希少系統繁殖雌牛の導入に対する奨励金交付	畜産農協	9万円/頭	15頭	畜産農協	9万円/頭	3頭
(3) 肉用牛ヘルパー推進 ヘルパー利用料への助成(1/2以内)	1ヘルパー組合	家畜輸送	745頭	1ヘルパー組合	家畜輸送	607頭

イ 強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業

区 分	計 画			実 績		
(1) 早期出荷支援事業 強化哺乳技術の活用等の取組を実施した生産者の子牛出荷頭数に対する奨励金交付	5農協	6千円/頭	190頭	5農協	6千円/頭	53頭

ウ 地域の特色ある肉用牛振興対策事業

区 分	計 画		実 績			
(1) 地方特定品種(日本短角種)の振興 ・草地用資材購入費、土壌分析費の助成(1/2以内) ・まき牛用種雄牛導入等への助成(1/2以内) ・肥育牛の計画出荷に対する奨励金交付	畜産農協	資材購入	一式	畜産農協	資材購入	一式
		土壌分析	一式		土壌分析	一式
		まき牛導入	1頭		まき牛導入	-
		機器の導入	-		機器の導入	一式
		計画出荷 8,000円/頭/1か月あたり	延べ 84頭		計画出荷 8,850円/頭/1か月あたり	延べ 72頭

(6) 畜産・酪農収益力強化対策事業〔生産基盤拡大加速化事業〕

(全国肉用牛振興基金協会委託) 事業費(事業運営費) 1,059,411円

牛肉の国内需要の増加と輸出拡大に対応するため、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じた奨励金の交付を実施した。

○奨励金単価 期首(R4.1.1)繁殖雌牛が50頭未満の経営体の場合、増頭1頭当たり246千円
50頭以上の経営体の場合、増頭1頭当たり175千円

No	取組主体	区分	対象者数 (人)	増頭奨励金 単価別頭数(頭)		計 (頭、千円)	
				@246千円	@175千円	頭数	金額
1	JA秋田たかのす飼料用米 利活用推進協議会	計画	1	3	-	3	738
		実績	1	1	-	1	246
2	秋田やまもと地域 畜産クラスター協議会	計画	1	1	-	1	246
		実績	-	-	-	-	-
3	秋田なまはげ農業協同組合	計画	4	36	-	36	8,856
		実績	6	25	4	29	6,850
4	秋田しんせい農業協同組合	計画	22	43	17	60	13,553
		実績	14	24	11	35	7,829
5	大仙・仙北・美郷地域 畜産クラスター協議会	計画	16	25	36	61	12,450
		実績	9	12	33	45	8,727
6	秋田ふるさと農業協同組合	計画	3	3	-	3	738
		実績	2	2	5	7	1,367
7	こまち農業協同組合	計画	2	4	-	4	984
		実績	2	2	-	2	492
8	秋田県畜産農業協同組合	計画	4	11	-	11	2,706
		実績	4	9	-	9	2,214
9	うご農業協同組合	計画	2	2	-	2	492
		実績	1	12	-	12	2,952
10	雄平地域 畜産クラスター協議会	計画	1	-	29	29	5,075
		実績	-	-	-	-	-
11	あきた白神農業協同組合	計画	-	-	-	-	-
		実績	1	-	1	1	175
計		計画	56	128	82	210	45,838
		実績	41	87	54	141	30,852

(7) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託）

事業費 2,041,620円

県内の畜産ネットワーク活動の活性化と連携強化を推進するため、セミナー等を開催した。また、生産者等からの各種相談に対応するため、畜産コンサルタント等による助言指導を行った。

区 分	計 画	実 績	増 減
1 セミナー等の開催	2回	1回	△1回
2 経営相談活動の実施	随時	46回	

3 畜産経営安定対策事業

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度〔牛マルキン〕（農畜産業振興機構委託）

事業費(事業運営費) 6,133,936円

肉用牛肥育経営の安定を図るため、生産者の負担金からなる基金を造成し、肉用牛の粗収益が生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付した。

牛マルキンは平成30年12月にTPP協定発効に合わせ法制化されて以来、令和3年度までを第1業務対象年間として実施し、令和4年度からは新たに第2業務対象年間(3年間)を開始した。

- 事業実施期間 令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日
- 交付金の負担割合 生産者 1/4 機構 3/4

ア 地域基金の造成実績

品 種	生産者負担金単価 (円/頭)	頭数 (頭)	基金造成額 (円)	
肉専用種	当初計画(旧単価)	5,000	5	25,000
	改定後(新単価)	12,000	5,235	62,820,000
交雑種	当初計画(旧単価)	13,000	1	13,000
	改定後(新単価)	19,000	933	17,727,000
乳用種	当初計画(旧単価)	11,000	0	0
	改定後(新単価)	19,000	2	38,000
計			6,176	80,623,000

イ 交付金交付実績

区分	交付 対象者数 (人)	頭数 (頭)	交付額 (円)	負担区分	
				農畜産業振興機構 からの交付分(円)	地域基金からの 交付分(円)
肉専用種	39	846	33,156,695	24,867,492	8,289,203
交雑種	5	393	6,783,204	5,087,390	1,695,814
乳用種	1	1	42,264	31,698	10,566
計	45	1,240	39,982,163	29,986,580	9,995,583

※交付対象者数の計は延べ人数

ウ 地域基金管理状況

《第1業務対象年間における地域基金管理状況》

区 分	期首残高 (R4.4.1)	増 加	減 少		残高 (R4.7.31)
		基金造成額	交付金額	無事戻し	
肉専用種	20,550,962	25,000	0	20,575,962	0
交 雑 種	10,472,467	13,000	287,958	10,197,509	0
乳 用 種	320,927	0	0	320,927	0
計	31,344,356	38,000	287,958	31,094,398	0

《第2業務対象年間における地域基金管理状況》

区 分	期首残高 (R4.4.1)	増 加	減 少	期末残高 (R5.3.31)
		基金造成額	交付金額	
肉専用種	0	62,820,000	8,289,203	54,530,797
交 雑 種	0	17,727,000	1,407,856	16,319,144
乳 用 種	0	38,000	10,566	27,434
計	0	80,585,000	9,707,625	70,877,375

(参考)牛マルキン 月別交付実績

(単位:頭、円)

交付年月	肉専用種		交雑種		乳用種		備考 (販売年月)
	頭数	交付額	頭数	交付額	頭数	交付額	
R4.4月	—	—	92	1,151,829	—	—	R4.2月
5月	—	—	—	—	—	—	3月
6月	—	—	—	—	—	—	4月
7月	—	—	—	—	1	42,264	5月
8月	—	—	26	804,420	—	—	6月
9月	—	—	33	1,127,380	—	—	7月
10月	335	17,021,469	44	1,903,491	—	—	8月
11月	284	3,900,688	34	732,960	—	—	9月
12月	—	—	34	349,910	—	—	10月
R5.1月	—	—	56	98,883	—	—	11月
2月	—	—	—	—	—	—	12月
3月(概算)	227	12,234,538	74	614,331	—	—	R5.1月
計	846	33,156,695	393	6,783,204	1	42,264	
うち地域基金 からの交付額		(8,289,203)		(1,695,814)		(10,566)	

(2) 肉用子牛生産者補給金制度(農畜産業振興機構補助)

事業費(事業運営費) 15,845,847円

肉用牛繁殖経営の安定を図るため、生産者等の積立金等からなる基金を造成し、肉用子牛価格が保証基準価格や合理化目標価格を下回った場合に補給金を交付した。

- 事業実施期間 令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日
- 補給金の負担割合 生産者 1/4 機構 1/2 県 1/4

ア 保証基準価格と合理化目標価格 (単位:円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	541,000	429,000
褐毛和種	498,000	395,000
日本短角種	320,000	253,000
乳用種	164,000	110,000
乳交雑種	274,000	216,000

※日本短角種には無角和種等のその他の肉専用種を含む。

イ 契約頭数及び基金の造成実績

品種	区分	頭数 (頭)	積立金 単価 (円/頭)	基金 造成額 (円)	負担区分		
					農畜産業 振興機構 (1/2)	秋田県 (1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	継続	4,249	1,600	6,798,400	3,399,200	1,699,600	1,699,600
	新規	536	1,600	857,600	428,800	214,400	214,400
	計	4,785	—	7,656,000	3,828,000	1,914,000	1,914,000
褐毛和種	継続	10	6,000	60,000	30,000	15,000	15,000
	新規	0	6,000	0	0	0	0
	計	10	—	60,000	30,000	15,000	15,000
日本短角種	継続	98	18,800	1,842,400	921,200	460,600	460,600
	新規	33	18,800	620,400	310,200	155,100	155,100
	計	131	—	2,462,800	1,231,400	615,700	615,700
乳交雑種	継続	19	3,200	60,800	30,400	15,200	15,200
	新規	0	3,200	0	0	0	0
	計	19	—	60,800	30,400	15,200	15,200
計	継続	4,376	—	8,761,600	4,380,800	2,190,400	2,190,400
	新規	569	—	1,478,000	739,000	369,500	369,500
	計	4,945	—	10,239,600	5,119,800	2,559,900	2,559,900

ウ 子牛平均売買価格と補給金単価

(単位:円)

品種区分	項目	R4.1~3月販売分	4~6月販売分	7~9月販売分	10~12月販売分
		(第4四半期交付)	(第1四半期交付)	(第2四半期交付)	(第3四半期交付)
黒毛和種	平均売買価格	730,200	668,500	605,400	614,000
	補給金単価	—	—	—	—
褐毛和種	平均売買価格	589,500	553,100	536,800	534,100
	補給金単価	—	—	—	—
日本短角種	平均売買価格	311,800	—	—	—
	補給金単価	8,200	—	—	—
乳用種	平均売買価格	231,200	210,000	149,500	127,400
	補給金単価	—	—	14,500	36,600
乳交雑種	平均売買価格	324,400	293,300	275,400	301,400
	補給金単価	—	—	—	—

※日本短角種は、補給金単価の算定期間を1年(4月~3月)とし、令和3年4月~令和4年3月販売および自家保留分に対して、令和4年度に算定を行い、その結果に基づき補給金を交付した。

エ 補給金の交付実績

(単位:人、頭、円)

品種区分	交付期	補給金単価	人数	交付頭数	補給金交付額	交付額の内訳	
						機構交付金	積立金
黒毛和種	—	—	—	—	—	—	—
褐毛和種	—	—	—	—	—	—	—
日本短角種	第1四半期	8,200	18	154	1,262,800	1,262,800	—
乳用種	—	—	—	—	—	—	—
乳交雑種	—	—	—	—	—	—	—
計			18	154	1,262,800	1,262,800	—

オ 生産者積立金管理状況

(単位:円)

品種区分	期首残高 (R4.4.1)	増加	減少	残高 (R5.3.31)
		基金造成額	補給金交付額	
黒毛和種	14,601,200	7,656,000	0	22,257,200
褐毛和種	126,000	60,000	0	186,000
日本短角種	5,518,280	2,462,800	0	7,981,080
乳交雑種	227,200	60,800	0	288,000
計	20,472,680	10,239,600	0	30,712,280

カ 生産者積立準備金管理状況

(単位:円)

区 分	期首残高 (R4.4.1) ①	積立金への 振替額 ②	期末残高 (R5.3.31) ①-②
生産者	51,919,768	2,190,400	49,729,368
秋 田 県	77,605,452	2,559,900	75,045,552
計	129,525,220	4,750,300	124,774,920

(3) 肉用牛肥育経営安定緊急対策事業 (県補助) 【新規】

事業費 108,000,000円

配合飼料価格等の高騰により、大きな影響を受けている肉用牛肥育経営体が生産基盤を維持できるよう、再生産に必要な素牛導入に係る費用の一部を補助した。

○ 補助金交付対象牛

牛マルキンに加入または加入が見込まれる肉専用種であって、令和4年4月から令和5年3月までに導入または自家保留をした肥育素牛

《補助金交付実績》

(単位:人、頭、円)

区 分	対象者数	奨励金単価	対象頭数	交付額
肉専用種	延べ 142	30,000	3,600	108,000,000

(4) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 (農畜産業振興機構補助) 【新規】

事業費 3,438,314円

肉用子牛の価格が短期間で大幅に下落し、生産者の経営環境が急激に悪化しており、生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されることから、「経営改善」や「産地強化」の取組を行った肉用子牛生産者を臨時的かつ緊急的に支援するため、肉用子牛のブロック別の平均売買価格が発動基準を下回った場合に奨励金を交付した。

なお、本対策は、令和4年12月までの臨時・緊急の措置となる。

○ 奨励金対象牛

肉用子牛生産者補給金制度に個体登録され、令和4年6月から12月に販売された子牛

○ 肉用子牛の東北ブロック平均売買価格が発動基準を下回った場合

① 経営改善に取り組む者について、下表のとおり交付した。

② ①の取組に加え、産地強化に取り組む者は、更に1万円/頭を追加して交付する。

《奨励金発動基準》

品種区分	発動基準価格A (奨励金単価 1万円/頭)	発動基準価格B (奨励金単価 3万円/頭)
黒毛和種	60 万円	57 万円
褐毛和種	55 万円	53 万円
その他の肉専用種(日本短角種)	35 万円	34 万円
交 雑 種	30 万円	29 万円
乳 用 種	18 万円	17 万円

《奨励金の交付実績》

(単位:人、頭、円)

品種区分	対象月	奨励金 単価	人数	交付 頭数	補給金 交付額
黒毛和種	—	—	—	—	—
褐毛和種	令和4年10月	40,000	3	8	320,000
日本短角種	令和4年10月	40,000	12	40	1,600,000
乳 用 種	—	—	—	—	—
乳交雑種	—	—	—	—	—
計			15	48	1,920,000

(5) 和子牛生産者臨時経営支援事業 (農畜産業振興機構補助) 【新規】

事業費(事業運営費) 247,407円

令和4年5月に急落した子牛価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、肉用子牛生産基盤の安定を図るため、和子牛生産者のセーフティーネットとして臨時的措置として、和子牛のブロック別の平均売買価格が、発動基準を下回った場合に、当該平均売買価格と発動基準の差額の4分の3を支援する。

なお、令和4年度は事業参加者のとりまとめを実施した。

○ 交付金対象牛

肉用子牛生産者補給金制度に個体登録され、令和5年1月から12月に販売された子牛

《交付金発動基準》

品種区分	発動基準
黒毛和種	60 万円
褐毛和種	55 万円
その他の肉専用種(日本短角種)	35 万円

※1 平均売買価格の算定地域

黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロック

褐毛和種、その他肉専用種は、全国1ブロック

※2 平均売買価格の算定期間

黒毛和種、褐毛和種は四半期別、その他肉専用種は年間

4 家畜伝染性疾病予防及び家畜畜産物衛生対策事業

(1) 自衛防疫強化対策事業（県補助）

事業費 51,517,155円

家畜伝染性疾病の発生による家畜の損耗を防止するため、予防接種を実施した。

畜種	予防接種名	計画	実績	増減
牛	牛五種混合(生ワクチン)	8,800 頭	8,980 頭	180 頭
	牛五種混合(不活化ワクチン)	200 頭	439 頭	239 頭
	牛六種混合(生・不活化ワクチン)	200 頭	5 頭	△195 頭
	牛アカバネ病(生ワクチン)	7,500 頭	8,095 頭	595 頭
	牛ヘモフィルス感染症(不活化ワクチン)	4,400 頭	4,304 頭	△96 頭
豚	豚丹毒(生ワクチン)	54,000 頭	42,815 頭	△11,185 頭
	豚丹毒(不活化ワクチン)	200 頭	0 頭	△200 頭
	日本脳炎・パルボ混合(生ワクチン)	500 頭	378 頭	△122 頭
	日本脳炎(生ワクチン)	200 頭	0 頭	△200 頭
鶏	ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合(生ワクチン)	2,000 千羽	1,557 千羽	△443 千羽

(2) 南部地域家畜検査冷蔵保管施設管理事業（県委託）

事業費 1,111,000円

県が大仙市に設置したBSE検査冷蔵保管施設に搬入及び搬出される96か月齢以上の死亡牛の保管等の管理を行った。

(3) 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省補助）

事業費 1,906,058円

牛ウイルス性下痢症(BVD)のまん延防止及び早期清浄化を図るため、検査の実施、陰性証明書の発行に対し助成を行った。また、牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止するため、共同放牧場における吸血昆虫の忌避、駆除の取組に対し助成を行った。

ア 牛ウイルス性下痢症対策

区分	計画	実績	増減
1 BVD検査	270 頭	147 頭	△123 頭
2 証明書発行	20 件	9 件	△11 件

イ 牛伝染性リンパ腫対策

区分	計画	実績	増減
吸血昆虫の忌避、駆除	8 放牧場	8 放牧場	—

(4) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省補助）

事業費 6,399,986円

96か月齢以上の死亡牛に義務付けられるBSE検査を実施し、死亡牛の適正処理を行う生産者に対し、死亡牛の輸送や処理を行うための経費について助成を行った。

区 分	計 画	実 績	増 減
処理頭数	200 頭	135 頭	△65 頭

(5) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成）

事業費 967,584円

家畜伝染病発生時の防疫措置の徹底を図るため、初動防疫活動を確実にを行うための防疫演習を実施した。

また、家畜生産農場における衛生管理の向上と、家畜畜産物の安全性を確保するうえで重要な、農場 HACCP の普及や認証取得に向けた取組を支援した。

ア 地域自衛防疫推進事業

区 分	計 画	実 績	増 減
1 推進会議の開催	2 回	2 回	—
2 防疫演習の実施	3 回	3 回	—

イ 地域農場HACCP認証支援事業

区 分	計 画	実 績	増 減
1 普及推進会議	1 回	1 回	—
2 地域取組促進活動	3 地区	1 地区	△2 地区

II 収益事業

収1 肥育牛及び比内地鶏素雛等販売供給事業

1 肥育牛実証展示事業

事業費 13,370,588円

種雄牛候補等の能力を把握するための後代検定を実施するほか、秋田牛ブランドの認証基準に基づいた肥育実証を行った。

(単位:頭)

区分	期首	増加	減少	期末
		購入	販売	
肥育牛	計画	12	8	12
	実績	12	8	12

《肉質等級別販売頭数》

区分	5等級	計
去勢	8頭	8頭

2 比内地鶏素雛等供給事業

事業費 141,030,387円

県内の比内地鶏生産者や事業者からの需要に応え、秋田県比内地鶏ブランド認証制度に基づき生産した素雛等の周年供給を行った。

(1) 種鶏導入実績

(単位:羽)

品 種	計 画	実 績	増 減
秋田比内鶏(雄)	440	440	-
ロードアイランドレッド(雌)	4,400	4,400	-
計	4,840	4,840	-

(2) 素雛等供給実績

(単位:羽)

区 分	種 類	計 画	実 績	増 減
素 雛	初生雛(0日齢)	82,800	79,152	△3,648
	中 雛(28日齢)	101,200	97,759	△3,441
	計	184,000	176,911	△7,089
食 鶏	成 鶏 他	8,400	7,849	△551
合 計		192,400	184,760	△7,640

(3) 施設機械等整備実績

(単位:円)

区 分	計 画		実 績		増 減	
	数量	事業費	数量	事業費	数量	事業費
柱上変圧器取替	—	—	2台	2,915,000	2台	2,915,000
計	—	—	2台	2,915,000	2台	2,915,000

収2 畜産関係機関・団体からの受託事業

1 貸付事業指導等受託事業（畜産近代化リース協会、中央畜産会委託） 事業費 3,065,429円

畜産近代化リース協会から機械施設の貸し付けを受けた生産者に対して、機械施設の確認及び管理状況等の調査、並びに適正な利用について指導を行った。

また、中央畜産会が実施する畜産経営の収益力強化のための畜産クラスター機械導入事業、及び酪農経営や肉用牛経営の労働負担軽減と生産性向上のための機械導入に関する窓口業務を行った。

事業	計画	実績	備考
1 貸付機械施設の確認等			畜産近代化リース業務
(1) 対象戸数	7戸	7戸	
(2) 対象機械施設等	11基	11基	
2 収益力強化のための機械導入			畜産クラスター機械導入事業業務
(1) 事業参加要望の取りまとめ	1回	1回	配分内訳 ・畜産クラスター協議会数:8 ・取組主体数:19 ・機械装置数:30
(2) 申請手続き業務等	随時	随時	
3 労働負担軽減等のための機械導入			畜産 ICT・楽酪 GO 事業業務
(1) 事業参加要望の取りまとめ	1回	1回	
(2) 申請手続き業務等	随時	随時	

2 牛せき柱適正管理推進事業（日本畜産副産物協会委託） 事業費 162,013円

食肉の処理過程で廃棄される牛のせき柱を産業廃棄物として適正に処理する食肉事業者に対し、日本畜産副産物協会が促進費を交付するための事務を行った。

3 榎森牧場維持管理業務（県委託） 事業費 415,492円

仙北市に県が所有する榎森牧場の維持管理のため、牧場内の除草及び調査を行った。

Ⅲ その他事業

他1 相互扶助等事業

1 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会委託） 事業費(事業運営費) 1,155,487円

口蹄疫、豚熱(CSF)等の海外悪性伝染病が発生した場合に備え、経営再開までに必要な経費等を相互に支援するため、生産者が自ら互助基金を造成し、発生時には基金等から互助金を交付することにより、畜産経営の安定化を図るための事業を実施した。

本事業は、令和3年度より新たな事業実施期間(3年間)が開始した。

○ 事業実施期間 事業実施期間 令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日

畜種	飼養戸数 (R4.2.1現在)	加入戸数	
		令和3年度実績	令和4年度実績
肉用牛	706戸	605戸	0戸
乳用牛	83戸	71戸	0戸
豚	68戸	30戸	0戸
計	857戸	706戸	0戸

2 生産段階における防疫強化対策事業

(1) 馬の伝染性疾病防疫推進対策（中央畜産会助成） 事業費 908,812円

馬インフルエンザ等伝染性疾病の防疫活動を強化するため、馬飼養者等の衛生管理に関する知識や技術の向上を図るとともに、乗用馬等に対する馬インフルエンザ予防接種に助成を行った。

ア 馬飼養衛生管理特別対策事業

区分	計画	実績	増減
1 技術講習会の開催	1回	1回	—
2 実態調査(アンケート調査)	35か所	12か所	△23か所

イ 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

区分	計画	実績	増減
馬インフルエンザワクチン接種への助成	28頭	8頭	△20頭

3 獣医師養成確保修学資金給付事業

事業費 13,032,974円

(獣医師養成確保修学資金給付事業 農林水産省補助)

(産業動物獣医師修学資金貸付事業 県補助)

県内で家畜の診療及び防疫に従事する獣医師を養成するため、産業動物獣医師を志す学生に修学資金を給付した。

《対象者数》

区 分		計 画	実 績	増 減
修学資金の給付	継 続	5 人	5 人	—
	新 規	4 人	1 人	△3 人
計		9 人	6 人	△3 人

《令和4年度給付実績》

対象者		給付期間 (月数) ①	月額 (千円) ②	令和4年度 給付額 (千円) ①×②	負担区分(千円)		
					国 (1/2)	共同負担者(1/2)	
						県	農業共 済組合
継続	私立大 (5年生)	R4.4~R5.3 (12か月)	180	2,160	1,080	1,080	—
	私立大 (5年生)		180	2,160	1,080	1,080	—
	私立大 (5年生)		180	2,160	1,080	—	1,080
	私立大 (5年生)		180	2,160	1,080	—	1,080
	私立大 (2年生)		180	2,160	1,080	—	1,080
新規	私立大 (1年生)	R4.7~R5.3 (9か月)	180	1,620	810	—	810
計				12,420	6,210	2,160	4,050

4. 附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

第2 財務諸表等

1. 財務諸表等の作成について

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用し、次のとおり会計基準に基づく財務諸表等を作成している。

【財務諸表】

- 貸借対照表
- 正味財産増減計算書(正味財産増減計算書内訳表を含む)
- キャッシュ・フロー計算書

【財務諸表に対する注記】

【附属明細書】

【財産目録】

I 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	531,817,320	313,165,300	218,652,020
売掛金	263,554,109	271,823,017	△ 8,268,908
未収金	591,555,710	318,778,141	272,777,569
貸倒引当金	▲ 117,573,257	▲ 126,491,202	8,917,945
前払金	58,820	59,700	△ 880
預託金	33,700	33,700	0
仮払金	0	508,386	△ 508,386
立替金	45,860	54,776	△ 8,916
棚卸飼料	15,427,613	12,295,722	3,131,891
棚卸家畜	18,398,000	22,057,200	△ 3,659,200
棚卸畜産物	820,658	4,949,900	△ 4,129,242
棚卸農用地	2,816,333,843	2,680,603,041	135,730,802
棚卸ワクチン	2,050,466	2,214,806	△ 164,340
棚卸園芸種子	45,752,405	43,876,422	1,875,983
貸付金	240,000	360,000	△ 120,000
供託金	6,660	0	6,660
流動資産合計	4,168,521,907	3,544,288,909	624,232,998
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	350,821,600	350,888,200	△ 66,600
定期預金	3,190,000	3,190,000	0
基本財産合計	354,011,600	354,078,200	△ 66,600
(2) 特定資産			
畜産振興基金引当資産	29,279,756	36,209,756	△ 6,930,000
肥育経営安定基金引当資産	70,877,375	31,344,356	39,533,019
生産者積立資産	30,712,280	20,472,680	10,239,600
生産者積立準備資産	124,774,920	129,525,220	△ 4,750,300
退職給付引当資産	87,644,866	98,224,532	△ 10,579,666
緊急防疫対策引当資産	1,500,000	1,500,000	0
事故対策等引当資産	3,143,880	3,143,880	0
運営準備資産	15,934,478	15,934,478	0
指定正味財産資産	217,538,602	236,849,865	△ 19,311,263
特定資産合計	581,406,157	573,204,767	8,201,390
(3) その他固定資産			
建物	10,318,029	12,016,172	△ 1,698,143
建物付属設備	5,029,511	2,448,872	2,580,639
構築物	18,577,700	23,807,873	△ 5,230,173
機械器具	21,333,261	28,575,227	△ 7,241,966
車両運搬具	2	3	△ 1
什器備品	3,068,296	3,814,431	△ 746,135
繁殖牛	17,473,108	22,663,782	△ 5,190,674
草地	23	23	0
預入保証金	8,000,000	8,000,000	0
外部出資金	25,690,000	25,690,000	0
その他固定資産合計	109,489,930	127,016,383	△ 17,526,453
固定資産合計	1,044,907,687	1,054,299,350	△ 9,391,663
資産の部 合計	5,213,429,594	4,598,588,259	614,841,335

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	450,000,000	150,000,000	300,000,000
1年内返済予定長期借入金	34,061,805	34,479,495	△ 417,690
未払金	270,780,756	140,230,283	130,550,473
預り金	34,137,466	25,591,255	8,546,211
仮受金	15,494,139	3,643,062	11,851,077
流動負債合計	804,474,166	353,944,095	450,530,071
2. 固定負債			
長期借入金	3,146,640,605	2,983,141,203	163,499,402
引当金	87,644,866	98,224,532	△ 10,579,666
基金	128,284,813	88,382,294	39,902,519
長期預り金	51,020,044	49,935,175	1,084,869
固定負債合計	3,413,590,328	3,219,683,204	193,907,124
負債の部 合計	4,218,064,494	3,573,627,299	644,437,195
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	151,609,521	163,633,414	△ 12,023,893
基金造成補助金	98,079,762	92,959,962	5,119,800
寄付金	29,240,122	36,170,122	△ 6,930,000
指定正味財産合計	278,929,405	292,763,498	△ 13,834,093
(うち特定資産への充当額)	(278,929,405)	(292,763,498)	(△13,834,093)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	716,435,695	732,197,462	△ 15,761,767
(うち特定資産への充当額)	(354,011,600)	(354,078,200)	(△66,600)
(うち特定資産への充当額)	(86,547,073)	(93,834,443)	(△7,287,370)
正味財産 合計	995,365,100	1,024,960,960	△ 29,595,860
負債及び正味財産合計	5,213,429,594	4,598,588,259	614,841,335

Ⅱ 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,903,527	2,903,400	127
② 特定資産運用益	1,200	4,459	△ 3,259
③ 受取賦課金	18,913,000	18,913,000	0
④ 事業収益	3,519,940,234	3,035,940,772	483,999,462
農地売渡等収益	2,740,071,590	2,440,726,462	299,345,128
園芸種苗販売収益	36,277,417	34,658,602	1,618,815
畜産販売収益	138,263,299	163,278,911	△ 25,015,612
受取手数料	46,972,890	53,482,720	△ 6,509,830
受取負担金	395,798,960	180,900,850	214,898,110
自衛防疫事業収益	51,139,421	57,956,889	△ 6,817,468
特裁認証業務収益	7,849,680	8,059,113	△ 209,433
有機認証事業収益	2,160,000	2,207,000	△ 47,000
受託事業収益	101,406,977	94,670,225	6,736,752
⑤ 受取補助金等	872,474,338	603,049,312	269,425,026
⑥ 受取基金造成補助金等	80,992,500	57,918,865	23,073,635
⑦ 受取寄付金	6,930,000	0	6,930,000
⑧ 雑収益	357,831	375,513	△ 17,682
経常収益計	4,502,512,630	3,719,105,321	783,407,309
(2) 経常費用			
① 事業費	4,507,498,138	3,732,195,600	775,302,538
人件費	347,554,848	356,470,867	△ 8,916,019
需用費	320,933,900	322,848,294	△ 1,914,394
期首棚卸資産	85,394,050	82,908,619	2,485,431
期中繁殖牛振替額	△ 512,200	△ 9,771,300	9,259,100
農地費等	2,734,763,905	2,437,743,500	297,020,405
原材料費	78,307,179	91,482,913	△ 13,175,734
期末棚卸資産	△ 82,449,142	△ 85,394,050	2,944,908
支払交付金等	277,015,177	199,181,475	77,833,702
施設等引渡処分損	688,158,900	281,230,400	406,928,500
減価償却費	56,549,483	54,331,384	2,218,099
引当金繰入額	1,782,038	1,163,498	618,540
② 管理費	10,190,800	10,081,763	109,037
人件費	7,746,721	7,700,972	45,749
需用費	2,444,079	2,380,791	63,288
経常費用計	4,517,688,938	3,742,277,363	775,411,575
当期経常増減額	△ 15,176,308	△ 23,172,042	7,995,734

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	659,999	1,851,219	△ 1,191,220
② 受取補償費等	0	961,446	△ 961,446
③ 受取返還金等	3,162,049	1,125,250	2,036,799
④ 引当金戻入額	585,000	750,000	△ 165,000
経常外収益計	4,407,048	4,687,915	△ 280,867
(2) 経常外費用			
① 固定資産減損損失	963,605	1	963,604
② 支払返還金等	3,778,412	1,710,196	2,068,216
③ 過年度受取補助金振替額	0	3,338,196	△ 3,338,196
④ 雑損失	58,890	25,000	33,890
経常外費用計	4,800,907	5,073,393	△ 272,486
当期経常外増減額	△ 393,859	△ 385,478	△ 8,381
税引前当期一般正味財産増減額	△ 15,570,167	△ 23,557,520	7,987,353
法人税、住民税及び事業税	191,600	191,600	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,761,767	△ 23,749,120	7,987,353
一般正味財産期首残高	732,197,462	755,946,582	△ 23,749,120
一般正味財産期末残高	716,435,695	732,197,462	△ 15,761,767
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	195,281,847	197,284,503	△ 2,002,656
② 受取基金造成補助金	5,119,800	5,240,800	△ 121,000
③ 受取補助金振替額	0	3,338,196	△ 3,338,196
④ 一般正味財産への振替額	△ 214,235,740	△ 216,049,256	1,813,516
当期指定正味財産増減額	△ 13,834,093	△ 10,185,757	△ 3,648,336
指定正味財産期首残高	292,763,498	302,949,255	△ 10,185,757
指定正味財産期末残高	278,929,405	292,763,498	△ 13,834,093
III 正味財産期末残高	995,365,100	1,024,960,960	△ 29,595,860

Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計									
	(公1)	(公2)					(公3)			
	1 農地中間管理 事業	1 人材育成・ 確保支援事業	2 農業経営総 合支援事業	3 付加価値活 動支援事業	4 主要農作物 種子生産・確 保支援事業	公2合計	1 畜産生産基盤 整備及び生産 振興事業	2 畜産経営技 術向上及び生 産基盤強化事 業	3 畜産経営安 定対策事業	4 家畜伝染性 疾病予防及び 家畜畜産物衛 生対策等事業
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取賦課金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	2,782,170,590	0	7,591,000	16,433,821	54,750,157	78,774,978	454,889,900	7,614,031	10,538,236	56,447,471
農地売渡等収益	2,740,071,590	0	0	0	0	0	0	0	0	0
園芸種苗販売収益	0	0	0	0	36,277,417	36,277,417	0	0	0	0
畜産販売収益	0	0	0	0	0	0	17,606,200	0	0	0
受取手数料	42,099,000	0	0	0	0	0	0	0	4,404,300	469,590
受取負担金	0	0	0	146,800	0	146,800	387,874,700	0	0	3,727,460
自衛防疫事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,139,421
特裁認証業務収益	0	0	0	7,849,680	0	7,849,680	0	0	0	0
有機認証事業収益	0	0	0	2,160,000	0	2,160,000	0	0	0	0
受託事業収益	0	0	7,591,000	6,277,341	18,472,740	32,341,081	49,409,000	7,614,031	6,133,936	1,111,000
受取補助金等	215,937,587	99,008,683	0	0	5,582,254	104,590,937	382,799,107	19,620,845	128,794,368	5,476,024
受取基金造成補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	80,992,500	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	6,930,000	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	99,874	99,874	36,000	0	0	3,000
経常収益計	2,998,108,177	99,008,683	7,591,000	16,433,821	60,432,285	183,465,789	844,655,007	27,234,876	220,325,104	61,926,495
(2) 経常費用										
事業費	2,998,508,833	101,082,900	8,288,911	18,890,962	66,747,332	195,010,105	833,321,914	27,332,750	218,745,585	63,270,010
人件費	130,658,193	13,789,195	4,465,172	14,682,720	35,933,119	68,870,206	57,934,492	17,321,151	18,913,231	7,348,021
需用費	131,111,231	8,632,102	3,823,739	4,208,242	17,161,626	33,825,709	57,333,650	4,578,842	7,657,054	53,667,129
期首棚卸資産	0	0	0	0	43,876,422	43,876,422	20,161,564	0	0	2,214,806
期中繁殖牛振替額	0	0	0	0	0	0	△ 512,200	0	0	0
農地費等	2,734,763,905	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原材料費	0	0	0	0	7,415,878	7,415,878	15,229,889	0	0	0
期末棚卸資産	0	0	0	0	△ 45,752,405	△ 45,752,405	△ 19,808,516	0	0	△ 2,050,466
支払交付金等	0	64,875,000	0	0	0	64,875,000	0	5,432,757	192,175,300	2,090,520
施設等引渡処分損	0	0	0	0	0	0	688,158,900	0	0	0
減価償却費	193,466	13,786,603	0	0	8,112,692	21,899,295	14,824,135	0	0	0
引当金繰入額	1,782,038	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費										
人件費										
需用費										
経常費用計	2,998,508,833	101,082,900	8,288,911	18,890,962	66,747,332	195,010,105	833,321,914	27,332,750	218,745,585	63,270,010
当期経常増減額	△ 400,656	△ 2,074,217	△ 697,911	△ 2,457,141	△ 6,315,047	△ 11,544,316	11,333,093	△ 97,874	1,579,519	△ 1,343,515

(単位:円)

公3合計	収益事業等会計							法人会計	内部取引 控除	合計
	共通	公益目的事業 会計合計	(収1) 肥育牛及び 比内地鶏素 雛等供給販 売事業	(収2) 関係機関・団 体からの受託 事業	(他1) 家畜防疫体 制及び獣医 師養成確保 等支援事業	共通	収益事業等 会計合計			
0	1,451,764	1,451,764	0	0	0	0	0	1,451,763	0	2,903,527
0	0	0	0	0	0	0	0	1,200	0	1,200
0	9,456,500	9,456,500	0	0	0	0	0	9,456,500	0	18,913,000
529,489,638	0	3,390,435,206	120,657,099	3,642,442	5,205,487	0	129,505,028	0	0	3,519,940,234
0	0	2,740,071,590	0	0	0	0	0	0	0	2,740,071,590
0	0	36,277,417	0	0	0	0	0	0	0	36,277,417
17,606,200	0	17,606,200	120,657,099	0	0	0	120,657,099	0	0	138,263,299
4,873,890	0	46,972,890	0	0	0	0	0	0	0	46,972,890
391,602,160	0	391,748,960	0	0	4,050,000	0	4,050,000	0	0	395,798,960
51,139,421	0	51,139,421	0	0	0	0	0	0	0	51,139,421
0	0	7,849,680	0	0	0	0	0	0	0	7,849,680
0	0	2,160,000	0	0	0	0	0	0	0	2,160,000
64,267,967	0	96,609,048	0	3,642,442	1,155,487	0	4,797,929	0	0	101,406,977
536,690,344	0	857,218,868	5,363,684	0	9,891,786	0	15,255,470	0	0	872,474,338
80,992,500	0	80,992,500	0	0	0	0	0	0	0	80,992,500
6,930,000	0	6,930,000	0	0	0	0	0	0	0	6,930,000
39,000	0	138,874	218,957	0	0	0	218,957	0	0	357,831
1,154,141,482	10,908,264	4,346,623,712	126,239,740	3,642,442	15,097,273	0	144,979,455	10,909,463	0	4,502,512,630
1,142,670,259	0	4,336,189,197	152,516,664	3,642,934	15,149,343	0	171,308,941		0	4,507,498,138
101,516,895	0	301,045,294	41,352,878	3,046,588	2,110,088	0	46,509,554		0	347,554,848
123,236,675	0	288,173,615	31,566,284	596,346	597,655	0	32,760,285		0	320,933,900
22,376,370	0	66,252,792	19,141,258	0	0	0	19,141,258		0	85,394,050
△ 512,200	0	△ 512,200	0	0	0	0	0		0	△ 512,200
0	0	2,734,763,905	0	0	0	0	0		0	2,734,763,905
15,229,889	0	22,645,767	55,661,412	0	0	0	55,661,412		0	78,307,179
△ 21,858,982	0	△ 67,611,387	△ 14,837,755	0	0	0	△ 14,837,755		0	△ 82,449,142
199,698,577	0	264,573,577	0	0	12,441,600	0	12,441,600		0	277,015,177
688,158,900	0	688,158,900	0	0	0	0	0		0	688,158,900
14,824,135	0	36,916,896	19,632,587	0	0	0	19,632,587		0	56,549,483
0	0	1,782,038	0	0	0	0	0		0	1,782,038
								10,190,800	0	10,190,800
								7,746,721	0	7,746,721
								2,444,079	0	2,444,079
1,142,670,259	0	4,336,189,197	152,516,664	3,642,934	15,149,343	0	171,308,941	10,190,800	0	4,517,688,938
11,471,223	10,908,264	10,434,515	△ 26,276,924	△ 492	△ 52,070	0	△ 26,329,486	718,663	0	△ 15,176,308

Ⅲ 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計									
	(公1)	(公2)					(公3)			
	1 農地中間管理 事業	1 人材育成・ 確保支援事業	2 農業経営総 合支援事業	3 付加価値活 動支援事業	4 主要農作物 種子生産・確 保支援事業	公2合計	1 畜産生産基盤 整備及び生産 振興事業	2 畜産経営技 術向上及び生 産基盤強化事 業	3 畜産経営安 定対策事業	4 家畜伝染性 疾病予防及び 家畜畜産物衛 生対策等事業
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	659,999	0	0	0
受取返還金等	0	3,000,000	0	0	0	3,000,000	0	162,049	0	0
引当金戻入額	0	45,000	0	0	0	45,000	540,000	0	0	0
経常外収益計	0	3,045,000	0	0	0	3,045,000	1,199,999	162,049	0	0
(2) 経常外費用	0									
固定資産減損損失	0	1	0	0	0	1	963,604	0	0	0
支払返還金等	616,363	3,000,000	0	0	0	3,000,000	0	162,049	0	0
雑損失	58,890	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	675,253	3,000,001	0	0	0	3,000,001	963,604	162,049	0	0
当期経常外増減額	△ 675,253	44,999	0	0	0	44,999	236,395	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,075,909	△ 2,029,218	△ 697,911	△ 2,457,141	△ 6,315,047	△ 11,499,317	11,569,488	△ 97,874	1,579,519	△ 1,343,515
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,075,909	△ 2,029,218	△ 697,911	△ 2,457,141	△ 6,315,047	△ 11,499,317	11,569,488	△ 97,874	1,579,519	△ 1,343,515
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高										
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
受取補助金等	177,974,887	0	0	0	17,306,960	17,306,960	0	0	0	0
受取基金造成補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	5,119,800	0
一般正味財産への振替額	△ 178,591,250	△ 13,761,273	0	0	△ 5,582,254	△ 19,343,527	△ 11,573,279	0	0	0
当期指定正味財産増減額	△ 616,363	△ 13,761,273	0	0	11,724,706	△ 2,036,567	△ 11,573,279	0	5,119,800	0
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
Ⅲ 正味財産期末残高										

(単位:円)

公3合計	収益事業等会計						法人会計	内部取引 控除	合計	
	共通	公益目的事業 会計合計	(収1) 肥育牛及び 比内地鶏素 雛等供給販 売事業	(収2) 関係機関・団 体からの受託 事業	(他1) 家畜防疫体 制及び獣医 師養成確保 等支援事業	共通				収益事業等 会計合計
659,999	0	659,999	0	0	0	0	0	0	659,999	
162,049	0	3,162,049	0	0	0	0	0	0	3,162,049	
540,000	0	585,000	0	0	0	0	0	0	585,000	
1,362,048	0	4,407,048	0	0	0	0	0	0	4,407,048	
963,604	0	963,605	0	0	0	0	0	0	963,605	
162,049	0	3,778,412	0	0	0	0	0	0	3,778,412	
0	0	58,890	0	0	0	0	0	0	58,890	
1,125,653	0	4,800,907	0	0	0	0	0	0	4,800,907	
236,395	0	△ 393,859	0	0	0	0	0	0	△ 393,859	
11,707,618	10,908,264	10,040,656	△ 26,276,924	△ 492	△ 52,070	0	△ 26,329,486	718,663	0	△ 15,570,167
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	191,600	0	191,600
11,707,618	10,908,264	10,040,656	△ 26,276,924	△ 492	△ 52,070	0	△ 26,329,486	527,063	0	△ 15,761,767
										732,197,462
										716,435,695
0	0	195,281,847	0	0	0	0	0	0	0	195,281,847
5,119,800	0	5,119,800	0	0	0	0	0	0	0	5,119,800
△ 11,573,279	0	△ 209,508,056	△ 4,727,684	0	0	0	△ 4,727,684	0	0	△ 214,235,740
△ 6,453,479	0	△ 9,106,409	△ 4,727,684	0	0	0	△ 4,727,684	0	0	△ 13,834,093
										292,763,498
										278,929,405
										995,365,100

Ⅳ キャッシュ・フロー計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 当期一般正味財産増減額	△ 15,761,767	△ 23,749,120	7,987,353
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	56,732,647	54,514,548	2,218,099
② 売掛金の増減額	8,268,908	△ 49,455,884	57,724,792
③ 未収金の増減額	△ 282,892,552	112,757,508	△ 395,650,060
④ 棚卸資産の増減額	△ 132,785,894	△ 194,748,361	61,962,467
⑤ 貸付金の増減額	120,000	120,000	0
⑥ 供託金の増減額	△ 6,660	5,191,440	△ 5,198,100
⑦ 固定資産処分損益	303,605	△ 1,851,219	2,154,824
⑧ その他資産の増減額	518,182	△ 499,968	1,018,150
⑨ 引当金の増減額	△ 9,382,628	△ 18,325,187	8,942,559
⑩ 基金の増減額	39,902,519	21,554,653	18,347,866
⑪ 未払金の増減額	130,550,473	20,386,388	110,164,085
⑫ その他負債の増減額	21,482,157	1,223,222	20,258,935
⑬ 指定正味財産からの振替額	△ 214,235,740	△ 216,049,256	1,813,516
小計	△ 381,424,983	△ 265,182,116	△ 116,242,867
3 指定正味財産増加収入			
① 補助金等収入	195,281,847	200,622,699	△ 5,340,852
② 受取基金造成補助金	5,119,800	5,240,800	△ 121,000
指定正味財産増加収入計	200,401,647	205,863,499	△ 5,461,852
事業活動によるキャッシュ・フロー	△ 196,785,103	△ 83,067,737	△ 113,717,366
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 基本財産取崩収入	66,600	66,600	0
② 特定資産取崩収入	74,027,933	40,506,221	33,521,712
③ 固定資産売却収入	660,000	1,949,100	△ 1,289,100
投資活動収入計	74,754,533	42,521,921	32,232,612
2 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	4,167,940	27,410,165	△ 23,242,225
② 特定資産取得支出	118,231,182	65,345,409	52,885,773
投資活動支出計	122,399,122	92,755,574	29,643,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 47,644,589	△ 50,233,653	2,589,064
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
① 借入金収入	1,409,680,840	1,164,502,810	245,178,030
財務活動収入計	1,409,680,840	1,164,502,810	245,178,030
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	946,599,128	897,605,156	48,993,972
財務活動支出計	946,599,128	897,605,156	48,993,972
財務活動によるキャッシュ・フロー	463,081,712	266,897,654	196,184,058
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	218,652,020	133,596,264	85,055,756
VI 現金及び現金同等物の期首残高	313,165,300	179,569,036	133,596,264
VII 現金及び現金同等物の期末残高	531,817,320	313,165,300	218,652,020

V 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券については、原価法によっている。ただし、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

ア. 家畜、農用地、園芸種子は、個別法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)によっている。

イ. 飼料、ワクチンは、最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

ア. 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、次の方法により計上している

①個別評価 …… 債権の相手方ごとに貸倒れの可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

②一括評価 …… ①以外の債権合計額の0.3%相当額を計上している。

イ. 退職給付引当金

職員の期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	350,888,200	0	66,600	350,821,600
定期預金	3,190,000	0	0	3,190,000
小 計	354,078,200	0	66,600	354,011,600
特定資産				
畜産振興基金引当資産	36,209,756	0	6,930,000	29,279,756
肥育経営安定基金引当資産	31,344,356	80,623,000	41,089,981	70,877,375
生産者積立資産	20,472,680	10,239,600	0	30,712,280
生産者積立準備資産	129,525,220	0	4,750,300	124,774,920
退職給付引当資産	98,224,532	10,061,622	20,641,288	87,644,866
緊急防疫対策引当資産	1,500,000	0	0	1,500,000
事故対策等引当資産	3,143,880	0	0	3,143,880
運営準備資産	15,934,478	0	0	15,934,478
指定正味財産資産	236,849,865	17,306,960	36,618,223	217,538,602
小 計	573,204,767	118,231,182	110,029,792	581,406,157
合 計	927,282,967	118,231,182	110,096,392	935,417,757

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	350,821,600	—	(350,821,600)	—
定期預金	3,190,000	—	(3,190,000)	—
小 計	354,011,600		(354,011,600)	
特定資産				
畜産振興基金引当資産	29,279,756	(29,240,122)	(39,634)	—
肥育経営安定基金引当資産	70,877,375	—	—	(70,877,375)
生産者積立資産	30,712,280	(23,034,210)	—	(7,678,070)
生産者積立準備資産	124,774,920	(75,045,552)	—	(49,729,368)
退職給付引当資産	87,644,866	—	—	(87,644,866)
緊急防疫対策引当資産	1,500,000	—	(1,500,000)	—
事故対策等引当資産	3,143,880	—	(3,143,880)	—
運営準備資産	15,934,478	—	(15,934,478)	—
指定正味財産資産	217,538,602	(151,609,521)	(65,929,081)	—
小 計	581,406,157	(278,929,405)	(86,547,073)	(215,929,679)
合 計	935,417,757	(278,929,405)	(440,558,673)	(215,929,679)

5. 担保に供している資産

該当なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	702,526,360	692,208,331	10,318,029
建物付属設備	5,634,200	604,689	5,029,511
構築物	460,707,925	442,130,225	18,577,700
機械器具	86,859,594	65,526,333	21,333,261
車両運搬具	1,106,200	1,106,198	2
什器備品	27,649,758	24,581,462	3,068,296
繁殖牛	28,364,511	10,891,403	17,473,108
草地	324,204,000	324,203,977	23
合 計	1,637,052,548	1,561,252,618	75,799,930

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
秋田県平成26年度第1回4号公債 (10年)	100,033,100	100,833,900	800,800
政府保証 第58回地方公共団体金融機 構債券(10年)	100,000,000	100,611,400	611,400
政府保証 第214回日本高速道路保有・ 債務返済機構債券(20年)	100,000,000	108,290,000	8,290,000
第52回利付国債(30年)	50,788,500	43,511,850	△ 7,276,650
合 計	350,821,600	353,247,150	2,425,550

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金等						
牛疾病検査円滑化推進対策事業補助金	農林水産省	0	2,672,526	2,672,526	0	
家畜生産農場衛生対策事業補助金	農林水産省	0	1,436,468	1,436,468	0	
獣医師養成確保修学資金貸与事業補助金	農林水産省	0	6,822,974	6,822,974	0	
肉用牛経営安定対策補完事業補助金	(独)農畜産業振興機構	0	6,612,141	6,612,141	0	
優良肉用子牛生産推進緊急対策事業補助金	(独)農畜産業振興機構	0	3,438,314	3,438,314	0	
和子牛生産者臨時経営支援事業補助金	(独)農畜産業振興機構	0	247,407	247,407	0	
肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業補助金	(独)農畜産業振興機構	0	15,845,847	15,845,847	0	
肉用子牛生産者補給交付金	(独)農畜産業振興機構	0	1,262,800	1,262,800	0	
畜産振興補助事業費補助金	地方競馬全国協会	0	12,112,000	12,112,000	0	
農地売買支援事業費補助金	秋田県	0	15,245,000	15,245,000	0	
大潟村方上地区関係補助金	秋田県	0	18,247,337	18,247,337	0	
基盤整備促進事業費補助金	秋田県	0	3,854,000	3,854,000	0	
新規参入者確保マッチング推進事業費補助金	秋田県	0	15,863,410	15,863,410	0	
農業次世代人材投資事業費補助金	秋田県	0	69,384,000	69,384,000	0	
草地畜産基盤整備事業費補助金	秋田県	0	111,308,000	111,308,000	0	
草地畜産基盤整備事業費補助金(事業主体事務費)	秋田県	0	6,318,000	6,318,000	0	
畜産環境総合整備事業費補助金	秋田県	0	245,715,000	245,715,000	0	
畜産環境総合整備事業費補助金(事業主体事務費)	秋田県	0	14,441,000	14,441,000	0	
肉用牛繁殖経営安定緊急対策事業補助金	秋田県	0	373,828	373,828	0	
肉用牛肥育経営安定緊急対策事業補助金	秋田県	0	108,000,000	108,000,000	0	
自衛防疫強化対策費補助金	秋田県	0	399,446	399,446	0	
中小家畜経営安定緊急対策事業補助金	秋田県	0	338,800	338,800	0	
配合飼料価格安定制度加入促進事業補助金	秋田県	0	137,200	137,200	0	
産業動物獣医師確保対策事業費補助金	秋田県	0	2,160,000	2,160,000	0	
畜産特別資金等推進指導事業補助金	(公社)中央畜産会	0	896,704	896,704	0	
家畜防疫・衛生指導対策事業助成金	(公社)中央畜産会	0	967,584	967,584	0	
馬飼養衛生管理特別対策事業補助金	(公社)中央畜産会	0	548,463	548,463	0	
馬伝染性疾病防疫推進対策事業補助金	(公社)中央畜産会	0	360,349	360,349	0	
種雄牛造成事業現場後代検定推進費	(公社)全国和牛登録協会	0	160,000	160,000	0	
小計		0	665,168,598	665,168,598	0	

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取補助金等(指定正味財産)						
公共牧場機能強化等体制整備事業費補助金	農林水産省	4,800,895	0	839,035	3,961,860	指定正味財産
農地中間管理事業費補助金	秋田県	3,760,962	177,974,887	178,591,250	3,144,599	指定正味財産
移住就業支援・フォローアップ事業費補助金	秋田県	61,108,516	0	13,761,273	47,347,243	指定正味財産
原種生産体制整備事業費補助金	秋田県	17,585,156	17,306,960	5,100,256	29,791,860	指定正味財産
種苗生産供給安定化事業費補助金	秋田県	2,546,911	0	481,998	2,064,913	指定正味財産
優良和牛生産基盤強化対策事業費補助金	秋田県	13,904,106	0	3,804,244	10,099,862	指定正味財産
比内地鶏防疫体制緊急整備事業費補助金	秋田県	6,113,340	0	883,860	5,229,480	指定正味財産
比内地鶏素雞供給体制強化支援事業費補助金	秋田県比内地鶏ブランド認証協議会	53,813,528	0	3,843,824	49,969,704	指定正味財産
小計		163,633,414	195,281,847	207,305,740	151,609,521	
受取基金造成補助金(指定正味財産)						
肉用子牛生産者積立助成金	(独)農畜産業振興機構	10,236,340	5,119,800	0	15,356,140	指定正味財産
肉用子牛生産者積立助成金	秋田県	5,118,170	2,559,900	0	7,678,070	指定正味財産
肉用子牛生産者積立準備金	秋田県	77,605,452	0	2,559,900	75,045,552	指定正味財産
小計		92,959,962	7,679,700	2,559,900	98,079,762	
寄付金(指定正味財産)	秋田県畜産物価格共済基金協会	36,170,122	0	6,930,000	29,240,122	指定正味財産
合計		292,763,498	868,130,145	881,964,238	278,929,405	

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	28,714,490
目的たる支出による振替額	185,521,250
合計	214,235,740

10. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	法人等の名称	住所	資産総額 (百万円) R5.3.31現在	事業内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の 兼務等	事業上の 関係			
当法人 の理事	秋田県土地 改良事業団 体連合会	秋田市	8,819	土地改良法 に基づく事 業	-	兼任1人	堆肥処理施設 等機能診断業 務委託契約	6,233	-	-
							堆肥処理施設 等補修実施設 計委託業務	6,050	-	-
							設計積算電算 処理業務委託 契約	1,719	-	-
							ほ場整備事業 等農地集積支 援業務委託契 約	1,540	-	-

※役員との取引については、100万円を超える取引について開示

11. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位:円)

前期末		当期末	
現金預金勘定	313,165,300	現金預金勘定	531,817,320
預入期間が3か月を超える定期預金	0	預入期間が3か月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	313,165,300	現金及び現金同等物	531,817,320

(2) 重要な非資金取引

該当なし。

VI 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
「財務諸表に対する注記」に記載

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	126,491,202	1,782,038	10,114,983	585,000	117,573,257
退職給付引当金	98,224,532	10,061,622	20,641,288	0	87,644,866

(注) 当期減少額のその他は、引当洗い替えによる戻入額である。

Ⅶ 財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	普通預金		<u>531,817,320</u>
	秋田銀行秋田駅前支店	運転資金として使用	344,203,440
	秋田銀行県庁支店	運転資金として使用	436,355
	秋田銀行大潟支店	運転資金として使用	460,166
	北都銀行山王支店	運転資金として使用	28,417,141
	農林中央金庫秋田支店	(公1) 農地売買事業等の事業資金	154,554,102
	JA秋田なまはげ矢留支店	(公3) 牛マルキン制度等の事業資金	3,746,116
売掛金	横手市農家 ほか146件	(公1) 農地売買事業(分割払型農地売買事業)における売掛金残額	<u>263,554,109</u>
未収金			<u>591,555,710</u>
	能代市農家 ほか369件	(公1) 農地売渡代金・賃借料、手数料等	268,763,163
	秋田県 ほか22件	(公2) 受託金、種子販売代金、貸付金等	32,404,718
	秋田県 ほか51件	(公3) 補助金、受託金、種畜譲渡代金	276,225,723
	JAあきた北 ほか8件	(収1) 比内地鶏素雛販売代金等	7,712,273
	中央畜産会 ほか4件	(収2) 事業受託金	1,897,060
	農林水産省 ほか3件	(他1) 補助金、助成金	4,552,773
貸倒引当金	上記未収金の貸倒引当金	上記未収金に対する貸倒引当金	▲ 117,573,257
前払金	JA秋田おぼこ ほか1件	(公3) 肉用牛振興事業における機械器具(トラクター)保険料ほか	<u>58,820</u>
預託金	自動車リサイクル料 4台分	(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業及び(公3) 肉用牛振興事業で所有する自動車のリサイクル料	<u>33,700</u>
立替金	(株)高井南茄園ほか 15件	(公2) 園芸種苗生産事業における種子送料	<u>45,860</u>
棚卸飼料			<u>15,427,613</u>
	乾草 47.1t、濃厚飼料 6.1t	(公3) 肉用牛振興事業等における飼料期末在庫	12,155,516
	稲わら 30t、濃厚飼料 22.5t	(収1) 肥育牛及び比内地鶏素雛等販売供給事業における購入飼料期末在庫	3,272,097
棚卸家畜			<u>18,398,000</u>
	肉用子牛 26頭	(公3) 肉用子牛生産供給事業における期末飼養家畜評価額	7,653,000
	肥育牛 12頭	(収1) 肥育牛実証展示事業における期末飼養家畜評価額	10,745,000
棚卸畜産物	比内地鶏正肉ほか 371パック	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業における販売用食肉等期末在庫	<u>820,658</u>
棚卸農用地			<u>2,816,333,843</u>
	農地売買事業農用地 194.1ha	(公1) 農地売買事業等における期末保有農用地評価額	1,730,769,792
	大潟村方上地区農用地 225.8ha		1,085,564,051
棚卸ワクチン	動物用ワクチン 7種	(公3) 自衛防疫強化対策事業における購入ワクチン期末在庫	<u>2,050,466</u>
棚卸園芸種子	えだまめ 3種、すいか 7種ほか	(公2) 園芸種苗生産事業における期末種子在庫評価額	<u>45,752,405</u>
貸付金	就農支援資金貸付金 1件	(公2) 人材育成・確保支援事業における就農支援資金貸付額	<u>240,000</u>
供託金	秋田地方法務局 4件	(公1) 農地中間管理事業における所有者不確知農地借入れのための補償金	<u>6,660</u>
流動資産合計			4,168,521,907

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券		運用益を公益目的事業及び法人会計で使用	<u>350,821,600</u>
	秋田県債(10年)		100,033,100
	政府保証債(10年)		100,000,000
	政府保証債(20年)		100,000,000
	利付国債(30年)		50,788,500
定期預金	北都銀行山王支店(2年)		<u>3,190,000</u>
<u>基本財産合計</u>			<u>354,011,600</u>
(2) 特定資産			
畜産振興基金引当資産	北都銀行山王支店 普通預金	(公3) 事業の財源として寄付を受けた資産	<u>29,279,756</u>
肥育経営安定基金引当資産	JA秋田なまはげ矢留支店 普通貯金	(公3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度における補てん金交付に備えた資産	<u>70,877,375</u>
生産者積立資産	JA秋田なまはげ矢留支店 普通貯金	(公3) 肉用子牛生産者補給金制度における補給金の交付に備えた資産	<u>30,712,280</u>
生産者積立準備資産	JA秋田なまはげ矢留支店 普通貯金	(公3) 肉用子牛生産者補給金制度における生産者積立金への繰入れに備えた資産	<u>124,774,920</u>
退職給付引当資産	北都銀行山王支店 定期預金(2年) 普通預金	(法人会計) 職員に対する退職金の支払に備えた資産	<u>87,644,866</u> 80,000,000 7,644,866
緊急防疫対策引当資産	北都銀行山王支店 普通預金	(公3) 自衛防疫強化対策事業における防疫組織強化等への助成に備えた資産	<u>1,500,000</u>
事故対策等引当資産	北都銀行山王支店 普通預金	(公3) 自衛防疫強化対策事業及び(収1) 肥育牛実証展示事業における事故による損失等に備えた資産	<u>3,143,880</u>
運営準備資産	秋田銀行県庁支店 普通預金	(公3) 肉用子牛生産者補給金制度の推進に係る資金の繰入に備えた資産	<u>15,934,478</u>
指定正味財産資産			<u>217,538,602</u>
建物	育雛舎1棟	補助事業により取得した資産で、(収1) 比内地鶏素雛供給事業に使用	103,268,328
建物付属設備	施設電気設備ほか 連動スタンションほか	補助事業により取得した資産で、(公2) 移住就業支援・フォローアップ事業に使用	487,141
		補助事業により取得した資産で、(公3) 肉用牛振興事業等に使用	2,254,504
構築物	ほ場暗渠 27.4haほか パイプハウス21棟ほか	補助事業により取得した資産で、(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	10,105,804
		補助事業により取得した資産で、(公2) 移住就業支援・フォローアップ事業に使用	30,685,512
機械器具	車両消毒装置 田植機、色彩選別機一式ほか トラクター8台、乗用管理機ほか トラクター1台ほか	補助事業により取得した資産で、(収1) 比内地鶏素雛供給事業に使用	6,973,215
		補助事業により取得した資産で、(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	24,306,800
		補助事業により取得した資産で、(公2) 移住就業支援・フォローアップ事業に使用	15,500,107
		補助事業により取得した資産で、(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	7,914,235
車両運搬具	ベルトコンベア2台ほか ワゴン車、軽トラック 軽トラック4台 家畜運搬車1台ほか	補助事業により取得した資産で、(収1) 比内地鶏素雛供給事業に使用	5
		補助事業により取得した資産で、(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	2
		補助事業により取得した資産で、(公2) 移住就業支援・フォローアップ事業に使用	674,483
		補助事業により取得した資産で、(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	10,926,666

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
供託金	秋田地方法務局 20件	(公1) 農地中間管理事業における所有者不確知農地借入れのための補償金	4,441,800
<u>特定資産合計</u>			<u>581,406,157</u>
(3)その他固定資産 建物			<u>10,318,029</u>
	牛舎、堆肥舎ほか	(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	450,809
	種鶏舎、孵卵舎ほか	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業に使用	9,867,220
建物付属設備			<u>5,029,511</u>
	施設電気設備ほか	(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	1,576,367
	事務所トイレ改修	(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	683,894
	柱上変圧器	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業に使用	2,769,250
構築物			<u>18,577,700</u>
	ほ場暗渠 3.3ha	(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	2,086,570
	簡易水道給水管 426mほか	(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	299,690
	放飼場 8棟ほか	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業に使用	16,191,440
機械器具			<u>21,333,261</u>
	トラクター、除雪機ほか	(公2) 主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	4,353,077
	トラクター、ホイールローダーほか	(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	6,048,268
	トラクター、発電機、孵卵器ほか	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業に使用	10,931,916
車両運搬具			<u>2</u>
	除雪ドーザー	(公3) 肉用牛振興事業等に使用	1
	動力運搬車	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業に使用	1
什器備品			<u>3,068,296</u>
	パーテーションほか	公益目的事業、収益事業等及び法人会計で使用	874,521
	小型無人機ほか	(公1) 農地中間管理事業に使用	619,148
	ノートパソコン、石油ファンヒーターほか	(公2) 人材育成・確保支援事業、主要農作物種子生産・確保支援事業に使用	222,572
	複合機、エアコンほか	(公3) 肉用牛振興事業と(収1) 肥育牛実証展示事業で共有して使用	817,615
	蒸気消毒器 1台ほか	(公3) 牛疾病検査円滑化推進事業等に使用	2
	洗卵選別機 1台ほか	(収1) 比内地鶏素雛供給等事業に使用	534,438
繁殖牛	繁殖雌牛 36頭	(公3) 肉用牛振興事業に使用	<u>17,473,108</u>
草地	造成、整備、改良 70ha	(公3) 肉用牛振興事業に使用	<u>23</u>
預入保証金	裁判所供託金	(公3) 家畜導入事業未収金に係る債務者の資産を仮差し押さえするための供託金	<u>8,000,000</u>
外部出資金			<u>25,690,000</u>
	全国農地保有合理化協会	債務保証事業に係る出資金	350,000
	秋田県農業信用基金協会	農業近代化資金 975口、一般資金 879口	18,540,000
	中央畜産会	地方会員活動支援推進基金預け金 9口	900,000
	全国肉用牛振興基金協会	入会預け金 59口	5,900,000
<u>その他固定資産合計</u>			<u>109,489,930</u>
固定資産合計			1,044,907,687
資産の部 合計			5,213,429,594

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	北都銀行山王支店	運転資金として借入	450,000,000
1年内返済予定長期借入金			<u>34,061,805</u>
農用地売買事業借入金	全国農地保有合理化協会	(公1)農地売買事業農用地の取得のための借入れ	25,502,805
農地条件整備事業借入金	全国農地保有合理化協会	(公1)農地耕作条件改善事業による条件整備の実施に要する経費の借入れ	465,000
就農支援資金借入金	秋田県	(公2)就農支援資金貸付のための借入れ	90,000
比内地鶏事業借入金	北都銀行山王支店	(取1)比内地鶏素雛供給施設整備資金の借入れ	8,004,000
未払金			<u>270,780,756</u>
	北秋田市農家 ほか38件	(公1)農地買入代金、業務委託費等	224,131,310
	JA大潟村 ほか14件	(公2)資材代金、修繕費等	877,992
	JAかづの ほか103件	(公3)事務委託費、支払補助金等	9,771,786
	JA秋田おぼこ ほか14件	(取1)購入飼料代金、燃料費等	7,600,314
	秋田南税務署 ほか13件	(法人会計)職員退職金、消費税納付額等	28,399,354
預り金			<u>34,137,466</u>
	鹿角市農家 ほか500件	(公1)公社が支払う農地賃借料のうち地主の名義変更による振込不能額の一時預かり	33,027,937
	公社役職員	(法人会計)雇用保険料等	1,109,529
仮受金			<u>15,494,139</u>
	秋田県 ほか1件	(公1)受取補助金の不要額返還分ほか	13,913,113
	農林水産省 2件	(公3)受取補助金の不要額返還分	906,006
	生産者積立金 1,671頭分ほか	(公3)畜産経営安定対策事業における契約手数料及び基金収入の次年度繰入分ほか	675,020
流動負債合計			804,474,166
2. 固定負債			
長期借入金			<u>3,146,640,605</u>
農用地売買事業借入金	全国農地保有合理化協会	(公1)農地売買事業農用地の取得のための借入れ	2,021,657,554
農地条件整備事業借入金	全国農地保有合理化協会	(公1)農地耕作条件改善事業による条件整備の実施に要する経費の借入れ	1,395,000
大潟村方上地区農地借入金	秋田県	(公1)大潟村方上地区農地の取得・整備のための借入れ	1,085,564,051
就農支援資金借入金	秋田県	(公2)就農支援資金貸付のための借入れ	45,000
比内地鶏事業借入金	北都銀行山王支店	(取1)比内地鶏素雛供給施設整備資金の借入れ	37,979,000
引当金			<u>87,644,866</u>
退職給付引当金	職員に対するもの	(法人会計)職員に対する退職金の支払に備えるため	87,644,866
基金			<u>128,284,813</u>
肉用牛肥育経営安定基金		(公3)肉用牛肥育経営安定交付金制度における補てん金交付に備えるため	70,877,375
生産者積立金		(公3)肉用子牛生産者補給金制度における補給金の交付に備えるため	7,678,070
生産者積立準備金		(公3)肉用子牛生産者補給金制度における生産者積立金への繰入りに備えるため	49,729,368
長期預り金			<u>51,020,044</u>
受入保証金	横手市農家 ほか146件	(公1)農地売買等事業における分割払型農地売買契約に係る預り保証金	44,582,253
貸付財源預り金	就農支援資金貸付金に係るもの	(公2)就農促進サポート事業における就農支援資金貸付金に係る延滞料等の預り金	37,791
預り補助金	全国肉用牛振興基金協会	(法人会計)基本財産造成費補助金の返還に備えるため	6,400,000
固定負債合計			3,413,590,328
負債の部 合計			4,218,064,494
正味財産			995,365,100

監 査 報 告 書

令和5年6月1日

公益社団法人 秋田県農業公社
理事長 齋 藤 了 様

公益社団法人 秋田県農業公社

監事 小原 正彦 

監事 桜庭 憲光 

監事 堀井 照重 

私たち監事は、令和4年度の事業報告及び財務諸表等について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会及びその他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。